

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2002-41402(P2002-41402A)

【公開日】平成14年2月8日(2002.2.8)

【出願番号】特願2000-225320(P2000-225320)

【国際特許分類】

<b>G 0 6 F</b>	<b>13/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>1/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>1/32</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 L</b>	<b>12/58</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>G 0 6 F</b>	<b>13/00</b>	<b>5 5 0 B</b>
<b>G 0 6 F</b>	<b>13/00</b>	<b>6 1 0 P</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>1/00</b>	<b>1 0 7 Z</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>1/32</b>	<b>Z</b>
<b>H 0 4 L</b>	<b>12/58</b>	<b>1 0 0 D</b>
<b>H 0 4 L</b>	<b>12/58</b>	<b>1 0 0 F</b>

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月25日(2007.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記受信工程により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記出力工程により前記受信メールを出力する際の文字コードを設定する文字コード設定工程と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記文字コード設定工程により設定された文字コードにより前記受信メールを出力するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項2】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記受信手段により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記出力手段により前記受信メールを出力する際の文字コードを設定する文字コード設定手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記文字コード設定手段により設定された文字コードにより前記受信メールを出力するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記受信工程により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ工程と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記出力工程による前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項4】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記受信手段により受信した受信メールをメモリに

蓄積するメモリ手段と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記出力手段による前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項5】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信工程と、前記受信工程により受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定工程と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定工程により設定された転送先へ送信するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信手段と、前記受信手段により受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定手段により設定された転送先へ送信するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項7】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの from : ヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項8】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの from : ヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項9】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ工程と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項10】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ手段と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項11】 ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード

(*char set*) 設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定工程により設定された設定先に前記受信メールを送信するように制御する制御工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項12】 ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード(*char set*) 設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定手段により設定された設定先に前記受信メールを送信するように制御する制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項13】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記出力モジュールにより前記受信メールを出力する際の文字コードを設定する文字コード設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(*char set*) 設定の記述が無い場合に前記文字コード設定モジュールにより設定された文字コードにより前記受信メールを出力するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項14】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリモジュールと、前記受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(*char set*) 設定の記述が無い場合に前記出力モジュールによる前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項15】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(*char set*) 設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定モジュールにより設定された転送先へ送信するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項16】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード(*char set*) 設定の記述が無い場合に前記受信メールの*from*: ヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項17】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリモジュールと、前記受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクト

または本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 18】 情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定モジュールにより設定された設定先に前記受信メールを送信するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上記第1の目的を達成するために請求項2に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記受信手段により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記出力手段により前記受信メールを出力する際の文字コードを設定する文字コード設定手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記文字コード設定手段により設定された文字コードにより前記受信メールを出力するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、上記第1の目的を達成するために請求項3に記載の情報処理方法は、ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記受信工程により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ工程と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記出力工程による前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御工程とを有することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、上記第1の目的を達成するために請求項4に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記受信手段により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ手段と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記出力手段による前記受信メールの出力を

行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

また、上記第1の目的を達成するために請求項5に記載の情報処理方法は、ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信工程と、前記受信工程により受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定工程と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定工程により設定された転送先へ送信するよう制御する制御工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、上記第1の目的を達成するために請求項6に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信手段と、前記受信手段により受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定手段と、前記受信メールのメールヘッダに文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定手段により設定された転送先へ送信するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また、上記第1の目的を達成するために請求項7に記載の情報処理方法は、ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは文字コード(charset)設定の記述が無い場合に前記受信メールのfrom:ヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御工程とを有することを特徴とする。

【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

また、上記第1の目的を達成するために請求項8に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの from : ヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正35】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正36】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正37】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0044】**

また、上記第1の目的を達成するために請求項9に記載の情報処理方法は、ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ工程と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御工程とを有することを特徴とする。

**【手続補正38】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正39】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正40】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正41】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0048】**

また、上記第1の目的を達成するために請求項10に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリ手段と、前記受信メールを記録媒体に出力する出力手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

**【手続補正42】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正43】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正44】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正45】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正46】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

また、上記第1の目的を達成するために請求項1\_1に記載の情報処理方法は、ネットワークに接続する接続工程と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信工程と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信工程と、前記メール受信工程により受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定工程と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定工程により設定された設定先に前記受信メールを送信するよう制御することを特徴とする。

【手続補正47】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正48】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正49】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正50】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

また、上記第1の目的を達成するために請求項1\_2に記載の情報処理装置は、ネットワークに接続する接続手段と、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信手段と、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信手段と、前記メール受信手段により受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定手段と、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定手段により設定された設定先に前

記受信メールを送信するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正51】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正52】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正53】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正54】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正55】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

また、上記第2の目的を達成するために請求項1\_3に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記出力モジュールにより前記受信メールを出力する際の文字コードを設定する文字コード設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記文字コード設定モジュールにより設定された文字コードにより前記受信メールを出力するよう制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

【手続補正56】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正57】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正58】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 7】

また、上記第2の目的を達成するために請求項1\_4に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリモジュールと、前記受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記出力モジュールによる前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

【手続補正 6 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 6 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

また、上記第2の目的を達成するために請求項1\_5に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送

信モジュールと、前記受信モジュールにより受信した受信メールを転送するための転送先を設定する転送先設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダに文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定モジュールにより設定された転送先へ送信するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

【手続補正 6 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

また、上記第2の目的を達成するために請求項1\_6に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無い場合に前記受信メールのfromヘッダフィールドに記述された送信元のドメイン名の国コード(トップレベルドメイン)と文字コードの対応表より出力する文字コードを設定して前記受信メールを出力するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

【手続補正 7 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】削除

【補正の内容】

**【手続補正73】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0080**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正74】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0081**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正75】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0082**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0082】**

また、上記第2の目的を達成するために請求項17に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールをメモリに蓄積するメモリモジュールと、前記受信メールを記録媒体に出力する出力モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード(`charset`)設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記メモリに蓄積するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

**【手続補正76】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0083**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正77】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0084**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正78】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0085**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正79】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0086**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正80】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0087**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

## 【0087】

また、上記第2の目的を達成するために請求項1\_8に記載の記憶媒体は、情報処理装置を制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、ネットワークに接続する接続モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを受信するメール受信モジュールと、前記ネットワークを介して電子メールを送信するメール送信モジュールと、前記メール受信モジュールにより受信した受信メールの転送先を設定する転送先設定モジュールと、前記受信メールのメールヘッダにサブジェクトまたは本文の文字コード( charset )設定の記述が無く且つ送信元のドメイン名について国コード(トップレベルドメイン)の記述が無い場合は前記受信メールの出力を行わずに前記転送先設定モジュールにより設定された設定先に前記受信メールを送信するように制御する制御モジュールとを有することを特徴とする。

## 【手続補正81】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正82】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正83】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正84】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】削除

【補正の内容】